

活 動 記 録 簿

議員名 福 田 雅 之

年 月 日	令和2年4月30日			
表 題	市政報告書（阪南市こうめいレポート 2020年5月）			
相 手 方	市民			
配布部数等	7,500枚（印刷・配布）			
目的、内容、 結 果 等	<p>市政報告書で、市民の皆さんに市議会での質問・活動について報告し、意見、要望等を聴取する。</p> <p>○令和2年3月阪南市議会第1回定例会での一般質問について</p> <p>○新型コロナウイルスについて</p> <p>○阪南市いきいき交流センターについて</p>			
活動に要した 経 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
				円
	経費内容	金額	内 訳	
	印刷代	14,366円	内訳：7,500枚（A4・両面印刷）	
	配布費	40,150円	内訳：7,300枚（5円/枚）	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
	円	内訳：		
合 計	54,516円	使途項目（広報費）		
備 考	印刷作成：ラクスル株式会社 配布：クラシード南大阪			



阪南市 こうめいレポート

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々、関係者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、地域医療を日夜ささえている医療従事者の皆さま、感染防止にご尽力されている皆さまに敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

さて、令和2年第1回定例会が3月に行われ、令和2年度の当初予算をはじめ、補正予算、条例制定等の重大な案件を慎重に審議いたしました。一般質問では公明党阪南市議団（二神勝・山本守・福田雅之）で質問の内容を検討し、山本議員が代表質問をさせていただきました。これからも皆さまの声をしっかりと市政に届け、安心・安全で活力あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

代表質問 (山本議員)

阪南市総合計画 阪南市行政経営計画(令和2年度)について

いつまでも安全に、安心して暮らせるまちについて

問 「住民の災害時における防火能力向上のために防火水槽については、初期消火に対応が難しく、消化体制が確立するまでの緊急対応」ということで、防火水槽を設置することですが、防火水槽の機能と、設置場所を教えてください。

答 防火水槽は、安定的な消火用水の確保と供給が困難な地域において、火災発生時の初期消火活動を円滑に行い、地域の火災被害を最小限にとどめることを目的として、消化に必要な一定量の用水を留めおく施設として設置されるものです。

現在、阪南市において、各地域に公設が84箇所、私設が29箇所、合計113箇所の防火水槽が設置されています。今般、お尋ねの防火水槽の設置箇所は、桑畑地区です。当該地区は、法の基準に基づき消火栓が設置されておりますが、集落規模が小さいことに加え、市街地から離れた位置にあることから、送配水機能が消火活動において容量不足に陥る恐れがあります。また、河川等からの水利用も考えられますが、当該地区を流れる井関川は、季節により水量が変化し、安定した消火用水に確保が難しいものと考えます。こうしたことから、新年度において、40 m³規模の防火水槽を地域内に2基設置する予定としております。

要望 自主防災組織の皆様が地域や施設に設置の消火栓などの使い方などを学ぶ機会をもうける事で、火災などの初動機に延焼等を防ぐ活動ができると思っておりますが、水道管が高圧で危険を伴うなど消防署等の指示が必要だと考えます。消防署と連携していただき、地域の皆さんと協働・連携して、実践的訓練の取り組みを通して、地域の防災意識の向上に努めて下さい。



新型コロナウイルスへの対策

「密閉」「密集」「密接」を避ける。屋外でも要注意。マスクの着用・石鹸による手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行が重要です。一人一人が感染から身を守るための行動が求められています。

三つの「密」を避けましょう!

- ①換気の悪い **密閉空間**
- ②多数が集まる **密集場所**
- ③間近で会話や発声をする **密接場面**

高齢者の健康維持

一般社団法人日本老人医学界は外出を控える高齢者に向けて、健康維持のために自宅でもなるべく運動するよう呼びかけています。座っている時間を減らし立ったり歩いたりする時間を増やす重要性を強調しています。

自宅でできる運動の例

- テレビのCM中に足踏ませる
- ラジオ体操
- スクワット

こんな悪質商法にご注意ください

新型コロナウイルスの感染拡大に便乗して金銭や個人情報などをだまし取ろうとする詐欺や悪徳商法が各地で相次いでいます。対策として、国民生活センターは▶根拠のない話には絶対に耳を貸さない▶行政機関の職員を名乗る不審な電話や心当たりのない送信元から怪しいメールやSMSが届いても反応しない▶悪質な勧誘を行う業者には耳を貸さないなどの注意喚起。

新型コロナに便乗した悪質商法などの事例

- 行政機関を名乗る者が「助成金を配る」と個人情報聞き出そうとする
- マスクの無料送付をうたうURL付きSMSが届く
- 頼んでもいないマスクや消毒液が宅急便で送り付けられる
- 水道業者を装った者が「水道管に新型コロナが付着している」と除去費用を請求する

困ったら一人で悩まず相談を!
消費者ホットライン いやや **188**

免疫力高める

感染症に対する危機感が高まっています。免疫力を高めるポイントは。

- 清潔** 手洗い、うがいの励行
ドアノブやスイッチなどを除菌
- 保温** 体を冷やさない
しっかり濡布につかる
- 笑顔** 「作り笑い」でも効果あり!
①口角を上げる ②声を出す
- 睡眠** 1日7時間
昼寝10分で20~30分の効果

阪南市いきいき交流センター

阪南市立老人福祉センターが介護予防拠点に

4月1日から老人福祉センターが「阪南市いきいき交流センター」に生まれ変わりました。健康教室やレクリエーションなどの交流活動、看護師による健康相談なども行います。子どもから高齢者まで誰もが利用できる施設となりました。

利用時間 9時～16時

休館日 土曜日(第2・4は除く) 日曜日

敬老の日以外の祝日 12月29日～1月3日

新型コロナウイルス感染症に係る休館が続いている場合があります。
 詳しくはお問い合わせください。 TEL 471-6575



— KOMEITO —
公明党

皆さまの声をお気軽に
 お聞かせください。

公明党阪南市会議員団



二神 勝
 ふたがみ かつ



山本 守
 やまもと まもる



福田 雅之
 ふくだ まさゆき

【発行】

阪南市議会議員
福田 雅之
 ふくだ まさゆき

阪南市尾崎町 1-4-23-2
 電話/FAX(072)472-5906

活 動 記 録 簿

議員名 福 田 雅 之

年 月 日	令和2年7月17日			
表 題	市政報告書（スマイルレポート 2020年7月）			
相 手 方	市民			
配布部数等	7,500枚（印刷・配布）			
目的、内容、 結 果 等	<p>市政報告書で、市民の皆さんに市政の情報や市議会での質問・活動について報告し、意見、要望等を聴取する。</p> <p>○令和2年6月阪南市議会第2回定例会での、一般質問について ○新型コロナウイルス「新しい生活様式」について ○青木松風庵月化粧ファクトリーについて</p>			
活動に要した 経 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
	経費内容	金額	内 訳	
	印刷代	13,992円	内訳：7,500枚（A4・両面印刷）	
	配布費	38,775円	内訳：7,050枚（5円/枚）	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
合 計	52,767円	使途項目（広報費）		
備 考	印刷作成：ラクスル株式会社 配布：クラシード南大阪			

スマイル レポート

新型コロナウイルス感染症により、未だ治療や療養を余儀なくなされている皆さまに一日も早いご回復をお祈り申し上げます。また、最前線でご尽力されている医療・介護・福祉サービスの従事者の皆さまに敬意を表すると共に心より感謝申し上げます。そして、コロナ禍の一日も早い終息と平穏な毎日が戻りますよう、心からお祈りいたします。



令和2年6月第2回定例会にて一般質問を行いました

コロナ禍における高齢者支援について

問 新型コロナウイルス感染拡大により、感染症の猛威が介護の現場にも深刻な影響を及ぼしました。明確な治療法がなく、高齢者が亡くなるリスクが高い感染症がまん延する状況下で、介護者と利用者が接触せざるを得ない介護の現場では、感染を防ぎつつ、どのようにサービスを維持していくのかを考えられました。コロナ禍における高齢者支援についてお聞きします。

答 高齢者福祉の中で中心的な役割を果たしている介護サービスについては、新型コロナウイルス感染症による影響について、できる限り最小限にしていくことが重要であると考えています。「緊急事態宣言中」にはケアマネージャーや介護事業所との連携を密にし、国や大阪府の情報を迅速に提供するなど、要介護者・要支援者に介護保険サービスが提供できるように努めてきたところであります。また、自主的に事業を自粛する介護事業所があったことから、被保険者が必要な介護サービスを継続して受けられるような情報について共有するためのICTを活用した取り組みを行い、マスクやアルコール消毒液の配布などの物的な支援も行ってきたところであります。



介護予防事業(フレイル予防策)について

問 外出自粛の要請がなされ、家に閉じこもりがちで日々が続くなか健康維持に務めることが大切です。体力や免疫力の衰えは、新型コロナウイルスによる感染症の重症化につながりやすくなりますので高齢者の方々には特段の注意が必要となります。心身の活力が衰えるフレイル状態を防ぐ取り組みなどが重要であると思いますが、本市の介護予防事業の取り組みについてお聞きします。

答 感染防止のため、介護予防教室等を5月末まで全て中止したところであります。このことにより外出自粛による運動不足から陥る健康リスクが危惧されるため、市の広報誌に簡単な健康体操を掲載し、これまで参加されていた方々に、要介護へ移行するフレイルを予防するためのパンフレット等を配布しております。また、住民主体型で実施している「いきいき百歳体操」の参加者には、市が自宅で行えるように、DVDを希望者の方に約200枚、配布したところであります。



要望 感染の恐れに直面する中、医療や介護・福祉サービスの従事者の皆さんは、使命感を持って業務に当たってくださいました。また、大変な状況の中、事業所の方々は事業の継続に尽力されました。本市の対策として事業所や従事者の皆さんに、手厚い支援が届くようお願いします。

「新しい生活様式」

新型コロナウイルスとの長期戦を見据え、感染予防と社会経済活動を両立する「新しい生活様式」が求められています。

日常生活での実践例

基本的な対策

- 人との間隔は、できるだけ2m 空ける
- マスクを着ける
- 帰宅したら、まず手や顔を洗い、すぐ着替える



移動 感染流行地域への出入りを控える。接触確認アプリを活用。

健康チェック 毎朝、体温を測り、発熱や風邪症状があれば自宅で療養。

イベントなどへの参加 接触確認アプリを活用。
発熱、風邪症状があったら参加しない。

公園や公共交通機関 すいている時間を選び、会話は控えめに。

部屋 こまめに換気し、密集・密接・密閉の「3密」を避ける。

買い物 すいている時間に素早く計画的に。通販や電子決済も活用。

食事 大皿を避けて個別に料理を取り、グラスなどの回し飲みは避ける。
おしゃべりを控えめに料理に集中。

働き方 テレワークやローテーション勤務、時差通勤を活用。
会議はオンラインで。



熱中症予防

外出時は暑い時間帯を避け、体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養。

熱中症予防行動のポイント

- ① 暑さを避けましょう
- ② 適宜マスクを外しましょう
- ③ こまめに水分補給しましょう
- ④ 日頃から健康管理をしましょう
- ⑤ 暑さに備えた体づくりをしましょう

青木松風庵 月化粧ファクトリー

7月15日に、青木松風庵 月化粧ファクトリーがオープンしました。

月化粧ファクトリーは、西日本最大級のお菓子を

作る産業観光型の施設です。本市のにぎわい拠点の一つとして多くの観光客の来訪が期待されます。月化粧ファクトリーでは月化粧の製造工程やお菓子の歴史、原材料の展示などが見学できます。



また、和菓子・ケーキ職人がお菓子の作り方を教えるお菓子教室(有料)を8月下旬から開催予定です。

月化粧カフェでは、季節のフルーツを使用したパフェやお飲み物、お食事もお楽しみいただけます。

月化粧カフェでは、季節のフルーツを使用したパフェやお飲み物、お食事もお楽しみいただけます。



皆さまの声をお気軽にお聞かせ下さい。今後とも、よろしく
お願い申し上げます。

発行

阪南市議会議員

福田 雅之

阪南市尾崎町 1-4-23-2

電話/FAX(072)472-5906

活 動 記 録 簿

議員名 福 田 雅 之

年 月 日	令和2年10月8日			
表 題	市政報告書（阪南市こうめいレポート 2020年10月）			
相 手 方	市民			
配布部数等	7,500枚（印刷・配布）			
目的、内容、 結 果 等	<p>市政報告書で、市民の皆さんに市政の情報や市議会での質問・活動について報告し、意見、要望等を聴取する。</p> <p>○令和2年9月阪南市議会第3回定例会での一般質問について</p>			
活動に要した 経 費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
				円
	経費内容	金額	内 訳	
	印刷代	13,992円	内訳：7,500枚（A4・両面印刷）	
	配布費	39,050円	内訳：7,100枚（5円/枚）	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
合 計	53,042円	使途項目（広報費）		
備 考	印刷作成：ラクスル株式会社 配布：クラシード南大阪			



令和2年第3回定例会が9月に開催されました。条例制定や令和2年度補正予算が可決され、令和元年度歳入歳出決算を慎重に審議いたしました。

一般質問では公明党阪南市議団(二神勝・山本守・福田雅之)で質問の内容を検討し、福田議員が代表質問をさせていただきました。これからも皆さまの声をしっかりと市政に届け、安心・安全で活力あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

代表質問 (福田議員)

災害時の情報発信について

令和2年度 阪南市行政経営計画及び
新型コロナウイルス感染症対策について

問 防災無線について、これまでも公明党として、あらゆる場面で質問をしましたが、やはり聞き取りづらいといった、お声をいただきます。「屋外では聞き取れる緊急情報の放送も、室内にいると十分に聞こえないことがある」「大雨の時などは、音声がかき消され放送が伝わりにくい」等のご意見であります。今後、おこりうる災害時での情報発信について、本市の見解をお聞きます。

答 コロナ禍における「新たな生活様式」への対応として、情報発信力強化の取り組みを予定しています。1つ目は、市から発信する様々な情報を利用者自らが選択した電話・フェイスブック・ライン等の情報媒体に一斉送信することのできるシステムを構築します。このことで、市からの様々な行政情報をリアルタイムに受け取ることが可能となります。



2つ目は、各家庭に個別受信機を設置することで、無線からの音声を直接宅内で聞くことができるものです。ただし、これは J-COMの防災情報サービスを活用することから、利用を希望されるご家庭は、機器等の使用についてJ-COMと受益者負担に関する契約を結ぶ必要があります。なお、当該サービスは受信端末機からの音声受信だけではなく、テレビに接続することで避難情報や気象情報をテレビ画面に表示することも可能となり、高齢者や聴覚障がい者への情報伝達の支援策として期待できるものと考えております。

空き家を活用した地域活動について

問 空き家問題は、解決までに時間を要することが多く、なかなか実効性ある対策が進まない現状のなか、空き家の地域福祉活動への利活用の施策として、今年度より、本市において空き家バンク制度が改正されました。この制度は、地域活動をする団体等が必要としている拠点の整備を支援するため、関係機関と連携し空き家所有者とのマッチングを支援していくものとお聞きしていますが、そのマッチングの概要と今後の取り組みについてお聞きます。

答 今年度からは、空き家等を活用した地域活動等を推進するため、関係機関との連携により「空家利活用相談会」を開催しております。具体的には、空き家の所有者及び空き家の利用希望者それぞれが、相談会に参加し空き家に関する専門の相談を受けることにより、マッチングを行い、地域活動拠点等の整備を支援しております。今後は、関心を持っていただくことが必要であるため広報・ウェブサイトに掲載するとともに、関係機関との連携により、相続など利活用に関するテーマに応じたセミナーの開催を行ってまいります。



行政のデジタル化について

問 新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、新たな社会経済活動のあり方を追求していくためにはデジタル化の加速が重要とされています。デジタル手続法の施行やデジタル・ガバメント実行計画の改定など、国において行政事務や行政手続きのデジタル化に向けた取り組みが強く推進されています。行政事務の効率化や行政サービスの向上に加え、感染症拡大時の対策としてデジタル化は有効だと考えますが、本市の見解をお聞きます。

答 限られた予算、人員で市民サービスの向上、業務の効率化、そして職員の働き方改革に取り組むつつ、市役所業務を進めていくには、これまでのやり方にとられない、新たな発想が必要と考えており、市役所業務におけるデジタル化の推進について今後、着実に取り組を進めてまいります。

問 行政のデジタル化とは、従来の行政手続きを簡単で便利なものにするという住民目線の取り組みとして進めていくことが大切であると思います。具体的な本市の取り組みをお聞きます。

答 社会保険や税の手続に関する情報交換をデジタル処理で行うことや死亡、相続や引っ越し等の官民の手続について、オンライン上でワンストップ化することも取り組みの具体例として掲げられています。まず「行かない窓口」として、来庁することをなくす、オンライン申請環境の構築などを進めるとともに、証明書のコンビニ交付の導入を検討しています。また、来庁された方に対しては「書かない窓口」として、名前などの同じ情報を何度も書くといった書類作成の負担を減らし、滞在時間を短縮するため、手書きや印刷文字を機械で読み取り複写することができるシステムの導入を検討しています。



ワーケーションの推進について

問 コロナ禍により、地方分散型社会への転換が求められています。政府から情報通信技術などを活用し遠隔で働くリモートワークの普及などが打ち出されている中、都市部から地方に向かう人の流れをつくり、地域活性化や企業の働き方改革につなげる取り組みとして、ワーケーションの推進が広がっています。本市は海山に囲まれ、豊かな自然環境や歴史・文化など、多くの観光資源があります。この本市の魅力を活かし、ワーケーションを推進することで、関係人口の獲得や、それに伴う地域の活性化などが期待されると思いますが、本市の見解をお聞きます。

答 コロナ禍の影響を受け、新しいスタイルがでてきていることを踏まえ、まちづくりにおける戦略の一つとして考えています。ワーケーションを進めることは、スマートシティ推進への寄与などあらゆるプラス効果が本市では考えられます。本市としては住みたくなる、滞在したくなるまちへ、Wi-fiなど通信環境整備、サテライトオフィスの推進、テレワークスペースや図書館、カフェの整備など外出時も心地よく働き暮らす環境の整備(サードプレイスづくり)がまちづくりのなかで考えられます。

ワーケーションとは、ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語で、会社員などが、休暇などで滞在している観光地や帰省先などで働くこと



— KOMEITO —
公明党

皆さまの声をお気軽
にお聞かせください。

公明党阪南市会議員団



二神 勝
ふたがみ かつ



山本 守
やまもと まもる



福田 雅之
ふくだ まさゆき

【発行】

阪南市議会議員

福田 雅之
ふくだ まさゆき

阪南市尾崎町 1-4-23-2

電話/FAX(072)472-5906

活 動 記 録 簿

議員名 福 田 雅 之

年 月 日	令和2年1月20日			
表 題	市政報告書（スマイルレポート 2021年1月）			
相 手 方	市民			
配布部数等	7,500枚（印刷・配布）			
目的、内容、結果等	<p>市政報告書で、市民の皆さんに市政の情報や市議会での質問・活動について報告し、意見、要望等を聴取する。</p> <p>○令和2年12月阪南市議会第4回定例会での一般質問について ○新型コロナウイルス感染症対策について ○アスベスト問題の中央要望について ○阪南市政への要望について</p>			
活動に要した経費	行 先	利用交通機関	利用区間	金 額
				円
				円
				円
				円
				円
	経費内容	金額	内 訳	
	印刷代	13,992円	内訳：7,500枚（A4・両面印刷）	
	配布費	39,050円	内訳：7,100枚（5円/枚）	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
		円	内訳：	
合 計	53,042円	使途項目（広報費）		
備 考	印刷作成：ラクスル株式会社 配布：クラシード南大阪			

令和2年第4回定例会が12月に開催されました。条例制定や条例改定及び令和2年度補正予算が可決されました。今回は、厚生文教常任委員会に分割付託されました本議案について委員として質疑を行いました。

これからも皆さまの声をしっかりと市政に届け、安心・安全で活力あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。



厚生文教常任委員会における質疑・答弁

第8期阪南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画について

問 介護予防の現状について、4～5月の緊急事態宣言の実施期間においては「いきいき百歳体操」は休止されていましたが、DVDを配布したり自宅で体操できるように支援されていました。今回のアンケート調査では「いきいき百歳体操」の認知度が大幅に増加しているとありますが、現状と今後の展望についてお聞きします。

答 「いきいき百歳体操」につきましては、緊急事態宣言中、全面休止していましたが、5月緊急事態宣言解除後は感染予防対策について団体のリーダーと相談しました。例えば、1つのグループを分散させる等の工夫など早期に再開できるように支援し、徐々に活動を再開していきました。この「いきいき百歳体操」は、高齢者の方が自主的に健康づくり介護予防に取り組み、身近な地域の住民センターや自宅等で実施していることから普及・啓発に努め、今後もグループの立ち上げ支援を行ってまいりたいと考えております。

問 新型コロナウイルスの感染拡大が続いています、外出自粛が続く運動不足になると健康への影響が心配されます、高齢者の健康維持についての支援対策をよろしくお願いたします。続いて、認知症予防について、アンケート調査において認知症カフェを知らない方が8割近くおられました。普及啓発の必要性が浮き彫りとなりましたが、その点についてお聞きします。



答 認知症カフェは、市内3か所あり認知症の当事者の方や関係者等が運営される「マスターズカフェ」家族会や関係者等が運営される「ぬくぬくカフェ」「くつろぎカフェ」がございます。年に1回、広報誌の掲載や認知症講演会等で普及啓発を行っています。今回のアンケート調査で以外に知らない人が多い結果となりましたので、広報誌の掲載はもちろん各関係機関・団体等、市民さんに対して普及・啓発に努めてまいります。

問 認知症カフェは地域の人たちが気軽に集い、認知症の人や家族の方たちが専門職に相談もできる大切な場所です。更なる啓発活動に努めて頂きたいと思っております。それでは続いて、認知症は早期に発見することで、早期に治療が開始でき認知症の進行を緩和することが本人にも、また周りの家族にとっても大切であります。認知症を気軽に早期発見できるシステムの構築が重要であると考えますが、認知症簡易テストについての見解をお聞きします。

答 認知症簡易テストは実施しておりませんが、認知症初期チームに相談があったケースにつきましては、生年月日等をたずねるダスクテストを実施し、認知症の状態を確認しています。しかしながら、認知症の早期発見・早期治療については、重要と考えていることから新たな認知症簡易テストの方法やシステム等を検討してまいります。



新型コロナウイルス感染症対策

国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、感染防止対策や生活支援などの事業（第4弾）を実施。[経済対策および新しい生活様式などへの対応](#)

- 経済的負担を軽減し地域の消費喚起を図るため、妊産婦に対して地域共通商品券を支給
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食事業者に対して感染症対策に係る経費を補助
- 小・中学校の就学援助世帯に対して、臨時休校期間の給食費分を支給
- 行政手続きのオンライン化のため、書面規制、押印及び対面規制の見直し
- 音声認識により会議録を作成するシステムを整備
- 保健センターにリモート相談・会議ができる環境を整備
- 校内通信ネットワーク環境を整備
- 公民館と文化センターに利用者用のWi-Fiを設置
- 遠隔会議や効率的な会議進行に資するため、プロジェクター及びスクリーン等を導入
- 市域の省エネ対策として、市役所庁舎と分館の照明をLED化
- 住民センターと保健センターに空調機を設置
- 公立保育所と学校給食センターの給食食器などをPEN樹脂素材に変更
- 市役所本庁、保健センター、公民館、文化センター、図書館、総合体育館などの手洗いう蛇口などを自動水栓化 等を行う

アスベスト問題についての中央要望

令和2年11月24日、アスベストによる健康被害に対する診断・治療・相談のできる医療機関の充実やアスベスト濃度調査の継続などの環境保全に関する問題等について、衆・参議院議員会館にて要望活動を行い、また、地元選出の谷川代議士に調整していただき、神谷昇環境大臣政務官と大隈和英厚生労働大臣政務官と面談、要望書を提出しました。



阪南市政への要望



公明党阪南市議会議員団(山本・福田・二神)にて水野市長へ「令和3年度阪南市政の施策に関する要望書」を提出しました。

- ◇フレイル予防の周知と充実に向けての取り組みを推進すること
- ◇防災力強化につながるマイタイムラインの普及啓発に努めること
- ◇小・中学校の体育館への空調設備の整備に取り組むこと
- ◇有料広告事業の拡充・ネーミングライツの推進・公有財産の売却等による自主財源確保を図ること
- ◇行政手続きのデジタル化に向けた取り組みを推進すること
- ◇新型コロナウイルス感染症対策を図ること 等 76項目



皆さまの声をお気軽にお聞かせ下さい。今後とも、よろしく
お願い申し上げます。

発行

阪南市議会議員

福田 雅之
ふくだ まさゆき

阪南市尾崎町 1-4-23-2
電話/FAX(072)472-5906